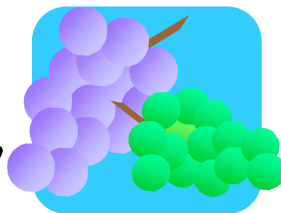


墨田区立図書館

・コミュニティ会館図書室

Newsニュース



図書館電話案内サービス

TEL : 3612-6048

【すみだ新図書館開館イベント第1弾】

「みんなでつくろう、新しいすみだの図書館」

講演会 & パネルディスカッションを開催しました！！

平成24年10月20日(土)に、すみだ生涯学習センターで「みんなでつくろう、新しいすみだの図書館」竹内庸子講演会 & パネルディスカッションを行いました。

このイベントは、統合新図書館の開館を前に、地域住民の方々と協働し、利用者目線に立った図書館サービスを提供するため、プロジェクトリーダーが企画し、イベントとして開催したものです。

イベントの前半では、インターネットサイト「東京図書館制覇！」の管理人であり、東京23区内の区立図書館250館を訪問し、図書館に精通している竹内庸子さんの講演を行いました。

後半では、講師である竹内さん、あずま図書館の職員、新図書館プロジェクトリーダーの方々がパネリストとなり、来場者からの質問をもとに「みんなでつくる図書館」についてパネルディスカッションを行いました。

定員を上回る90名以上の参加があり、大盛況となりました。

プロジェクトリーダー...図書館の事業・企画等に積極的に携わるボランティアリーダー



パネルディスカッションをしている様子です。

第2回墨田区図書館運営協議会を開催しました。

日時
場所
議事

平成24年10月27日
教育委員会室
・平成25年度以降の図書館サービス
・(仮称)統合新図書館整備事業の報告
・その他

近日中に会議
録をホームページ
に公開します。

どんどん進化するTS(ティーンズ)コーナー！

図書館のTS(ティーンズ)コーナーをご存知ですか？ 墨田区立図書館では、忙しい毎日の中で読書から離れがちな10代の皆さんに読書を楽しんでもらおうと、TSコーナーを設置しています。今回は、10月下旬に発行したティーンズ情報誌「10代のための本棚」No.2と、「フウガすみだ」とのコラボレーションポスターについて、お知らせいたします

■ 待ちに待った情報誌NO.2の発行です ■

春先にNo.1を発行し、多数のリクエストにより夏には号外も発行されたTS情報誌「10代のための本棚」。

今回ついにNo.2が発行されました！ 担当者が様々な角度から吟味(ぎんみ)を重ねたオススメ本の紹介や、墨田の歴史がわかる「SUMIDAGAKU」、調べもののコラムなど、盛りだくさんの内容。No.1で大人気だった連載小説(?)「図書館物語」の続きも掲載されています(^)



図書館物語(第2話) 一部抜粋(ばっすい)

今日は図書館デートの日。放課後、TとSは図書館で待ち合わせをすることになった。約束の時間より先に来ているTが、ティーンズコーナーの本棚をながめていると...

何が起きるのでしょうか...? ぜひ冊子を手にとって読んでみてください！

■ フウガすみだ × 墨田区立図書館 コラボレーションポスター ■

The Kicker in the Library ~ライブラリーでつかまえて~

墨田区ホームタウンスポーツチームとして活躍するフットサルチーム「フウガすみだ」。墨田区立図書館では、「フウガすみだ」とのコラボレーション企画を行っています。今回ついにコラボポスターが完成！ 区内の小中学校や、区内各施設に掲示中です。

また、あずま図書館TSコーナーでは、フウガ選手のオススメ本や、須賀(すが)監督の語録を展示しているので、ぜひ見に来てくださいね！



◆ティーンズ情報誌No.2「10代のための本棚」で紹介されているオススメ本を手にするフウガすみだの選手たち。奇跡のコラボレーションです。

情報誌は、区内中学校1、2年生に配布しています。ぜひほしいという方は、年齢に関わらず、図書館までお越しください。また、コラボポスターがほしいという方は、先着15名様に差し上げますので、あずま図書館までお越しください。

ベストリクエスト

順位	書名	著者	予約数
1	舟を編む	三浦しをん著	331
2	虚像の道化師	東野圭吾著	298
3	ナミヤ雑貨店の奇蹟	東野圭吾著	269
4	ソロモンの偽証 第1部	宮部みゆき著	241
5	禁断の魔術	東野圭吾著	205
6	空飛ぶ広報室	有川浩著	180
7	白ゆき姫殺人事件	湊かなえ著	169
8	ソロモンの偽証 第2部	宮部みゆき著	166
9	三匹のおっさん	有川浩著	148
10	ジェノサイド	高野和明著	145

寄贈のお願い

予約が集中している資料については、複数冊購入していますが、早期の提供ができない状況です。上記の予約多数図書で、読み終えてご家庭でお持ちのものがありませんでしたら、図書館への寄贈をご検討下さい。ご寄贈いただける場合は、お手数ですが、図書館・コミュニティ会館にお越しの際にお持ち下さい。お持ちいただいた本は、図書館の資料として活用させていただきます。



私の本棚

フェルマーの最終定理

著者 サイモン・シン
訳者 青木 薫

皆さん、数学は好きですか。もしかしたら嫌いな方のほうが多いのではないのでしょうか。私は、得意とは言えませんが、難しい問題と向き合っている時間が好きで、熟考の末その問題が解けたときは何とも言えない爽快感を感じたのを覚えています。

そんな数学の世界では、プロの数学者をもってしても未だ解決できていない様々な問題があり、今もプロ、アマチュアを問わず、世界中の数学者たちがその問題を解決すべく果敢に挑戦しています。

そこで、今回ご紹介する本は、今から約3世紀半前に、一人のアマチュア数学者ピエール・ド・フェルマーが証明したものの、彼が詳しい証明を残さなかったため、後世の数学者たちが300年以上にわたってその証明を試みたという、数学界最大の難問とされてきたフェルマーの最終定理が証明されるに至った経緯を綴った本、その名も「フェルマーの最終定理」です。

この定理自体は非常に単純なもので、「 $x^n + y^n = z^n$ 」この方程式はnが2より大きい場合には整数解を持たない」というものです。n=2の場合は、例えばx=3、y=4、z=5で両辺は25となります。しかし、nが3以上になったとたん、それを満たす整数は一切存在しなくなるのです。一見探せばありそうな感じがしますが無いというのがこの問題の面白いところです。整数自体はいくつ存在するかというと、それは無限に存在します。無限に存在するのに、絶対に無いなんて言えるの?と思いますが、それを証明するのがこの問題の難しいところで、「ここまで探して無いから無い」では証明になりません。

本著では、この難問に対し、数学者たちが様々なテクニックを駆使してこの証明を完成させようとした軌跡が記されていますが、数学の知識がなくても十分に楽しめる内容となっています。最終的には、アンドリュー・ワイルズという数学者が、日本人数学者からヒントを得てこの定理を証明します。本著を読み進めていくと、ワイルズが証明を完成させたところで、不思議と読者側も大きな達成感を感じます。

ちなみに、この難問を解いたワイルズが少年の頃にこの問題にたまたま出会ったのは、町の図書館だったそうです。少年ワイルズはその図書館で、この問題を解決するという夢を見つけ、そしてその夢を叶えました。そして今もなお、数学に限らず、未だ解決されていない問題が無数にあり、後に解決するであろう人と出会うのを待っています。ワイルズがそうであったように、皆さんの夢も図書館で見つかるかもしれませんね。

(図書館職員 げんぶ)

今月の特集コーナー

☆ 墨田区立図書館・図書室では、季節や行事に合わせてテーマを決め、資料を集めて展示しています。

館名	今月の特集コーナー
あずま図書館	一般書：「ノーベル文学賞受賞者」 ティーンズサービス〔T.S〕：「風を駆けぬけて！」 児童書：「家族」 窓ぎわ：「コルデコット賞 オナー賞 絵本」
緑図書館	一般書：「キャンプ」 ティーンズサービス〔T.S〕：「風を駆けぬけて！」 児童書：「おいしい秋」
寺島図書館	児童1室：「せかいのむかしばなし」 児童2室：「風」
立花図書館	一般書：「宗教ってどうなってるの？」 児童書：「ちょっと未来の自分のために知ること、できることをふやしてみよう」 えほんのひろば：「本のでてくる絵本」
八広図書館	一般書：「冬のあったかごはん」「時間旅行～時を越える物語～」 児童書：「しぜんとあそぼう」
東駒形コミュニティ 会館図書室	一般書：「芸術の秋」 児童書：「ともだち」「にこにこえがお」
梅若橋コミュニティ 会館図書室	一般書：「手紙で伝えてみませんか」「残しておきたい日本文化」 児童書：「ふゆのはじまり」
横川コミュニティ 会館図書室	一般特集1：「読む鉄道」 一般特集2：「あったかーい冬 ～さむーい冬は体の内から外からあたたかなろう～」 児童特集：「お菓子なおはなし」

【すみだ新図書館開館イベント第2弾!!】

岡 直樹 講演会を開催します！

～図書館を創る・街を創る・未来を創る～

日時：平成24年11月10日（土）

午後2時から4時まで

場所：墨田区役所131会議室

講師：岡直樹（NPO法人「情報ステーション」代表）

対象：墨田区内在住・在勤・在学

定員：先着50名

参加費：無料

【問合せ先】

あずま図書館 プロジェクトリーダー担当

電話 03-3612-6048

※自動音声メニューの「8」を選択してください。

※ 詳しくは、各図書館・図書室にあります「岡直樹講演会」チラシをご覧ください。

本を借りるだけでなく、交流が生まれる空間を目指した図書館の理念や、新しい時代の図書館のあり方等についてお話をいただきます。

緑図書館(すみだ文化講座)【12月】と資料展【11月】

※ 11月の緑図書館(すみだ文化講座)は休講となりました。

すみだ文化講座 158
元禄赤穂事件の虚実

講師：田村悟氏

日時：12月2日（日）午後2時～4時

場所：ユートリア（すみだ学習センター）

すみだ文化講座 159
巷（ちまた）の忠臣蔵

講師：藤田小八氏

日時：12月16日（日）午後2時～4時

場所：みどりコミュニティセンター

写真展：すみだの昭和

ミニ文学展 「すみだ」を写した
作家・写真家たち

期間：10月27日（土）～11月25日（日）

場所：緑図書館1階、3階展示コーナー

「すみだ」今昔、本の一言 日本初の天文台、本所 渋川春海屋敷

「天地明察」よく読まれていよう。私は文庫本で読みましたが、映画の方は残念ながらまだ見ていません。この物語の主人公、渋川春海は日本の天地自然にあわせた暦、「大和暦」ともいわれる「貞享暦」を完成させた人物です。二百十日というと「台風が来る日」というのが今日もいわれていますが、この二百十日を暦に明記したのが渋川春海です。

それまで日食、月食の予報に優れていると使ってきた「宣明暦」は800年以上も経ち、ずれを生じていました。改暦の気運はあったのですが、保守的な公家はなかなか手を付けなかったのです。改暦は形式上、朝廷の暦専門家である土御門家に命じられました。実際は渋川春海が行ったのです。天の運行を伝え、吉凶を占うのはもともと天皇のものであり天皇の権威そのものだったのですから、改暦を武家の主導によって行ったということは、幕府のある江戸が文化の中心になるという意味合いさえももっていました。改暦実行により幕府の権威はいよいよ強固になったのです。

渋川春海とは晩年の名で、父は安井算哲、安井家は將軍の御前で暮を打つことを許された四家の一つです。渋川春海は長男で、父の死によって算哲を継いでいたのですが若く13歳であったため、実際には養子の安井算知が継ぎ、春海は保井算哲と名乗っていました。御城暮も七段の腕前でしたが、余り暮打

ちの職を継ぐ気はなかったのでしょうか。不動の北極星が天の中心であるように、暮も初手は天元（暮盤の中央）に打つべきだなどといって負けたこともあり。暦学や算術の方が好きだったようです。しかし、暮を介して幕府の重臣にも知られ、京生まれ京育ちで公家とも交流のあった春海だからこそ、改暦の大役を担えたとはいえます。才知だけでは出世できないことは今日もいえることでしょうか。

さて、貞享元年（1684）、改暦を幕府に献上した暮師算哲すなわち春海は、この年幕府初の天文職となります。さらに、元禄二年（1689）11月23日、幕府は春海に新開地本所にある300坪の屋敷を与えます。この屋敷こそ天文職の春海が天体を観測するための司天台つまり日本初の天文台となりました。場所は、大横川と豎川が交わる所、現在の墨田区緑4-3の辺りです。北側は道を隔てて時の鐘屋敷があり、西隣は空き地、東と南は川です。から、近隣を気にせず観測ができたことでしょう。なによりまだ屋敷も少なく、夜空の星は美しく輝いていたにちがいない。春海は51歳、すでに地球が丸いことを知っておりその大きさを計測していません。渾天儀（こんてんぎ）など観測のための道具も造り、科学的な天体観測を行い、より正確な暦づくりを目指します。数々の天文暦学書を著し、將軍に天文学も講じました。

元禄16年（1703）6月5日、渋川春海の屋敷は本所を離れ、駿河台に移されます。赤穂浪士による吉良邸討ち入り事件からほぼ半年余り後のことです。天文台は駿河台に移された後、何度か移転し、

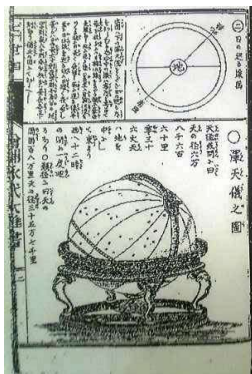
最終的には天明2年（1782）浅草元鳥越に移され、3000坪の土地に10メートルの山を築いて、春海の頃とは比べようもないほど精密な観測装置を備えていました。改暦は、春海以後、3回行われました。ともかくも、日本の近代的な天文観測が、初の天文職である渋川春海の本所屋敷から本格的に始まったということ、記憶したいとおもいます。

（真津志麻記）

（参考）

- 「天地明察」沖方丁著
- 「江戸の天文学者星空を翔る」中村土著
- 「東京市史稿市街編第11」P777
- 「東京市史稿市街編第15」P249
- 「東京市史稿産業編7」P865 873

*前回の「モダニズムの作家龍胆寺雄と今井宋夫婦」の中で鞆の読みが（かくう）になっていましたが、（きくう）の誤りでした。訂正します。



『永代万暦大雑書』手塚貞彦編
(明治16年刊): 国立国会図書館蔵

墨田区立図書館・図書室 11月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
<p>14日(水曜日)の緑図書館の「こうさく会」は『クリスマスかざりをつくろう』です。</p> <p>28日(水曜日)のあずま図書館の「こうさく会とおはなし会」は『クリスマスカードをつくろう』です。</p> <p>行事の詳細は、各館に直接お問合せください。</p>				<p>1 緑「小さい子どものためのおはなし会」10:30~</p>	<p>2 横「おはなしのじかかん」15:45~</p>	<p>文化の日 3 八「おはなしとあそびのじかかん」10:30~ 立「おはなし会」14:00~ 寺「おはなし会」14:30~ 東「おはなしのもり」15:00~</p>
4	<p>5 東・梅・横 コミュニティ 図書室休館</p>	6	7	8	<p>9 横「おはなしのじかかん」15:45~</p> 	<p>10 八「おはなしとあそびのじかかん」10:30~ あ「あそびとおはなし会」11:00~ 立「おはなし会」14:00~ 寺「おはなし会」14:30~ 梅「おはなし会」15:00~</p>
11	12	13	<p>14 八「おひざでえほん」11:00~ 緑「こうさく会」15:15~</p>	<p>15 館内整理日 全館休館</p>	<p>16 横「おはなしのじかかん」15:45~</p>	<p>17 八「おはなしとあそびのじかかん」10:30~ 立「おはなし会」14:00~ 梅「おはなし会」15:00~</p>
<p>18 あ「小さい子どものためのおはなし会」11:00~</p>	19	<p>20 東「おはなしれっしゃ」10:30~</p>	<p>21 緑「おはなしのへや」15:15~</p>	22	<p>勤労感謝の日 23 横「おはなしのじかかん」15:45~</p>	<p>24 八「おはなしひろば」10:30~ 立「おはなし会」14:00~ 梅「おはなし会」15:00~</p>
 <p>25 毎月25日は すみだ家庭の日</p>	26	<p>27 寺「おひざでえほん」10:30~</p>	<p>28 あ「こうさく会とおはなし会」15:15~</p>	29	<p>30 横「おはなしのじかかん」15:45~</p>	

あずま図書館
文花 1-19-1
電話:3612-6048

緑図書館
緑 2-24-5
電話:3631-4621

寺島図書館
東向島 3-34-4
電話:3611-4610

立花図書館
立花 6-8-1-101
電話:3618-2620

八広図書館
八広 5-10-1-104
電話:3616-0846

**東駒形コミュニティ
会館図書室**
東駒形 4-14-1
電話:3623-1141

**梅若橋コミュニティ
会館図書室**
堤通 2-9-1
電話:3616-1101

**横川コミュニティ
会館図書室**
横川 5-9-1
電話:5608-4500

すみだ女性センター
押上 2-12-7-111
電話:5608-1771

【開館時間】

火曜日~土曜日・・・9:00~20:00
日曜日・月曜日・祝日・・・9:00~17:00
コミュニティ会館図書室は、
月曜日の開館時間が9:00~20:00です。

【休館日】

館内整理日《毎月第3木曜日(祝日にあたる場合は翌日)》、年末年始
コミュニティ会館図書室は、毎月第1月曜日も休館日です。